

制定年月日2017.07.01

施 工 要 領 書

フッ素樹脂系光触媒含有コーティング剤
ピュアコートタイル

施工に関するお問い合わせ



株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

本社・研究センター 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町 4-14
TEL : 0725-22-5361
FAX : 0725-22-5363

東京営業所 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-45-9
ヤマナカヤビル 6F
TEL : 03-5940-6075
FAX : 03-5940-6076

中部営業所 〒510-8114 三重県三重郡川越町亀崎新田 77-568
TEL : 059-363-5151
URL : <http://www.pialex.co.jp>

I. 基材

適応基材＝タイル吸水率 区分 I 類(強制吸水率 3.0%以下)

- ・推奨事項：淡彩色、艶あり（鏡面）以外のタイル
- ・ピュアコートタイルは 3~5 分艶の塗料になります。
そのため、艶ありのタイルに塗装した場合は、艶が無くなります。
- ・ラスタータイルには使用できません。
ラスタータイル独特の艶が無くなり、外観が白ぼける可能性があります。

基材について

- ・基材の表面処理は確実に行ってください。
- ・基材の乾燥は十分に行ってください。
基材の乾燥が十分でない場合、ピュアコートタイル施工後に、外観異常が発生する可能性があります。
- ・吸い込みの著しい基材には施工できません。（適用基材以外のもの）
光触媒効果が見込めない可能性があります。
- ・塗装面の汚れ、付着物等は除去してください。
- ・欠損部又は補充部には施工できません。
欠損部や補修部がある場合、外観異常等が発生する可能性があります。

II. ピュアコートタイル施工前確認

- ・ピュアコートタイル施工前にホースやスプレー等塗装器具を水道水で洗浄してください。溶剤や他塗料が混入すると機器の故障や、塗装不良が発生する可能性があります。
- ・ピュアコートタイルの容器底部に沈殿物がある場合は十分に攪拌を行ってください。沈殿物が残ったまま施工を行うと機器の故障や塗装不良等が発生する可能性があります。
- ・下記環境条件の該非を確認してください。
気温:5~40℃
湿度:80%以下
風:ビューフォート風力階級4未満
天候:晴～曇
あてはまらない場合、ピュアコートタイルは施工できません。
成膜、密着、外観不良及び光触媒効果に不具合が発生する可能性があります。
- ・結露発生時に施工を行わないでください。
- ・塗装途中に降雨及び降雪の可能性が高い場合は、施工を控えてください。

Ⅲ. ピュアコートタイルについて

荷姿	ポリ容器 5L容器:3kg 10L容器:8kg
液性状	乳白色液体、アルコール臭
消防法による危険物区分	第四類引火性液体 アルコール類 危険物等級Ⅱ
安衛法表示対象物質	イソプロピルアルコール(IPA)、1-ブタノール
比重(at25℃)	0.7~0.9
粘度(at25℃/イワタカップ)	8.0±2.0sec
pH	7.0~9.0

- ・ピュアコートタイルは光触媒である酸化チタンが配合されている為、仕上がり外観が白く仕上がる場合があります。
- ・購入後3ヶ月以内に使用してください。
- ・開封後14日以内に使用してください。
- ・冷暗所にて保管してください。火気厳禁です。

Ⅳ. ピュアコートタイル施工仕様

適正施工	吹付
塗装回数	2回
塗出量	1回当たり0.035~0.045kg/m ² 2回合計0.07~0.09kg/m ²
塗装可能面積	10L容器(8kg): 89~114 m ² ,5L容器(3kg): 33~42 m ²

- ・ローラー施工はできません。仕上がり外観不良の原因となります。
- ・必ず2回吹付をおこなってください。
- WET on WETは不可です。光触媒効果が得られない可能性があります。
- ・吐出量過多の場合はタレや液たまりが発生し仕上がり外観不良になります。
- ・吐出量不足の場合は機能や効果が発現しにくくなる可能性があります。

吹付機セッティング(ホース長さ:30m)

吹付機	チップ	口径 (mm)	吐出圧 (MPa)	空気圧 (MPa)
エアコートガン	精和産業社製ターンWチップ0940	0.23	4~5	0.1~0.3
	ワグナー社製3000ACチップ9/40or9/50	0.23	4~5	0.1~0.3
エアレス塗装機	精和産業社製ターンWチップ0940	0.23	4~5	—
	ワグナー社製トレードチップ2 409	0.23	4~5	—

※標準仕様です。使用環境により変動する可能性があります。

カップガン仕様：手でエア－調節が可能なカップガン

口径1.0mm以下、空気圧0.2~0.3MPa、パターン幅約30cm

コンプレッサー1馬力以上

- ・指定チップ以外では施工不可です。

吐出量制御が非常に困難で外観異常や性能不良の原因となります。

V. ピュアコートタイル塗装

- ①施工前に天候や気温等気象条件を確認してください。
- ②塗装面に結露や未乾燥等異常がないか確認してください。
- ③施工前に容器に記載されている注意事項、SDSを確認してください。
- ④保護マスク、保護メガネ、保護手袋及び前掛け等保護具を着用してください。
- ⑤ピュアコートタイルを十分に攪拌してください。

施工中も30~60分に1回程度攪拌してください。

- ⑥吹付機セッティングを再度確認してください。
必ず目立たない箇所等のためし塗装を行ってください。
- ⑦塗装面と吹付スプレーの距離は約30cm程度の距離を保ってください。
一度に大量吹付を行うと、低粘度の為、塗液が垂れます。
- ⑧縦・横1setで1回の塗装とします。

2回吹付では(縦・横1set)→乾燥→(縦・横1set)となります。

塗装間隔(インターバル)の目安

施工時気温(°C)	塗装間隔(インターバル)時間(分)
10	60
20	30
30	20

塗装間隔(インターバル)時間の最長は1週間です。

- ⑨十分に乾燥するまで、施工面には触れないでください。
- ⑩塗料設計上の性能を発揮する為には、上記項目を厳守してください。

VI. 施工終了後及び補修

ピュアコートタイルの防汚性(親水性)確認

施工完了後、春夏秋期3時間、冬期24時間以上十分に乾燥させた施工箇所に霧吹き器等で塗膜親水性確認をしてください。

【注意】乾燥が十分でない状態での親水性確認は、塗膜異常の原因になります。

- ・塗膜表面で水がなじむ(水膜が形成される)→親水性による防汚性が発現しています。
- ・塗膜表面で水滴ができる(水がはじく)→親水性不足です。

再度ピュアコートタイルを施工して、乾燥後防汚性(親水性)確認を行ってください。

施工完了してからの補修方法

塗料の垂れが残ってしまった場合

イソプロピルアルコールでふき取ってから(完全に塗膜を除去する)、再度吹き付け塗装を行ってください。

施工後、仕上がり外観異常が発生している場合(白ボケ、斑が目立つ等)

イソプロピルアルコールでふき取ってから（完全に塗膜を除去する）、再度吹き付け塗装を行ってください。

VII. 安全衛生上の注意

- ・本品は塗料としての用途以外に使用しないでください。
- ・塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気ガスなどを吸い込まないようにしてください、屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接または近接する家屋の換気口、空気取り入れ口などして、蒸気、ガスなどが屋内に入らないようにしてください。
- ・塗料の臭気がなくなるまで換気をしてください。
- ・取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないように、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、頭巾、保護手袋、長袖の作業着を着用してください。
- ・衣服などに付着した場合は直ぐに汚れを落としてください。
- ・容器は転倒、落下、衝撃をあたえる等、粗暴な行為をしないでください。
- ・塗料を出した際はその都度ふたをしてください
- ・容器からこぼれた場合には、ウエス等で直ぐに拭き取ってください。
- ・取り扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器はふたをすると共に、直射日光、40℃以上の高温、高湿を避け、火災、腐食、凍結の恐れのないところに保管してください。
- ・子供や部外者の出入りしない所で保管してください。
- ・廃塗料、廃容器、洗浄水、洗浄容器等は産業廃棄物として処理してください。
- ・絶対に排水溝、地面、河川などに流さないでください。
- ・目に入った場合は直ちに多量の清水で15分以上洗浄し、直ぐに医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は直ちに多量の石鹼水で洗い、炎症等の痛み、外観に異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ・気分が悪くなった場合は、空気の清浄な所で安静にし、回復しない場合は医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は車の運転はせず、医師の診察を受けてください。

※詳しい内容が必要な場合は製品安全データシート（SDS）をご参照ください。